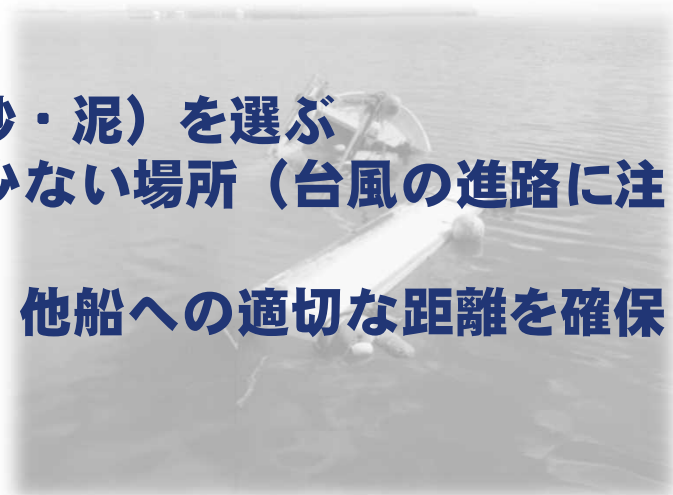


# 走錨に注意!!

南九州は、台風の常襲地帯です。  
過去数々の台風が襲来し、大きな海難、災害をもたらしています。  
台風などの荒天により走錨が発生した場合、沿岸への乗揚げや漁業施設、橋脚などの構造物へ衝突し、大災害に発展することがあります。  
避泊する船舶は、次のことを確認し、走錨事故を防止しましょう。

## ✓ 投錨位置の選定

- 錨かきの良い場所（砂・泥）を選ぶ
- 波浪等外力の影響の少ない場所（台風の進路に注意）を選ぶ
- 陸岸の距離、障害物、他船への適切な距離を確保する



## 錨泊方法の検討

荒天避泊における錨泊方法は、強風の風速及び風向の時間的な変化、波浪状況及び泊地の状況を考慮し錨泊方法（**単錨泊・振れ止め錨泊・双錨泊**）を検討しましょう

## ✓ 守錨時の留意事項

- 主機及び揚錨機の準備、内部連絡体制の確立
- 最新の気象情報の入手
- 定期的船位測定の実行
- 十分な見張り（自船及び他船の走錨監視等）
- 国際VHF（ch16）の常時聴取

